

Table with columns for equipment type (e.g., 一般用途, 産業用), usage (e.g., 飲食店, 工場), and fire source (e.g., スパーク, 漏電). Rows indicate fire risk levels (e.g., 対人, 対物) and effectiveness of countermeasures (e.g., 空調機停止時, 火災発生時).

○時空積を求めめる最悪ケースは工場とした。
理由: 時空積を求めめる最悪ケースとして、一定空間における障害物(机や工作機器)の割合が多い、町工場での狭小工場とした。
ただし、検討時狭小工場に使われる空調機能力と冷媒量の関係は、非現実的(空調機能力が高い)であったが、空間最小を優先し上記を最悪ケー